

一般質問通告一覧

平成25年第3回島田市議会定例会
平成25年9月10日・11日・12日本会議

島 田 市 議 会

◎ 発言順位

(頁)

平成25年9月10日(火)

5番	山本孝夫	議員(一問一答)	-----	1
13番	福田正男	議員(一問一答)	-----	2
3番	横田川真人	議員(一問一答)	-----	3
1番	青山真虎	議員(一問一答)	-----	4
11番	桜井洋子	議員(一問一答)	-----	5
17番	大石節雄	議員(一問一答)	-----	6

平成25年9月11日(水)

19番	八木伸雄	議員(一問一答)	-----	7
6番	森伸一	議員(一問一答)	-----	8
2番	杉野直樹	議員(一問一答)	-----	9
9番	村田千鶴子	議員(一問一答)	-----	10
18番	藤本善男	議員(一問一答)	-----	11
8番	清水唯史	議員(一問一答)	-----	12

平成25年9月12日(木)

20番	平松吉祝	議員(一問一答)	-----	13
4番	伊藤孝	議員(一問一答)	-----	14
7番	仲田裕子	議員(一問一答)	-----	15

1. 5番 山本孝夫 議員 (一問一答)

1. 市長の市政運営について

(1) 広域行政については島田市、藤枝市、焼津市、3市の市長の話し合いが持たれ、3市の連携についても新聞等で報道された。一方で、先日消防救急の広域化について藤枝市、焼津市を飛び越えて静岡市等との協議が進んでいるとの報告を消防本部より受けた。

これから近隣市町と連携する中で、藤枝市、焼津市を除いた枠組みを進める場合は、今後の連携に支障が出てくるのではないかと懸念されるが、どう考えているか伺う。

(2) 金谷庁舎の取り扱いについて前回の一般質問でも行ったが、今後の進め方はいずれの場合も早急に進める必要があるが、

①島田金谷の合併協定書に基づき、耐震補強工事を行って再利用を考える。

②取り壊しを行って新建築物を建設して利用を考える。

③その他の選択肢を考えている。

のいずれの方針か伺う。

2. スポーツ振興について

(1) スポーツ施設の利用について、予約の方法を含め公平な利用がされていると考えているか。

(2) 施設利用率の高い施設と低い施設があると思うが、低い施設にはどんな問題があるのか。

(3) 今年度のしまだ大井川マラソン in リバティの参加予定者数とその内島田市民の人数はどのくらいか。それらの人数は前回、前々回と比較してどうか。また、地元企業や諸団体の協力状況について今回はどうか。

3. 防災対策について

(1) 第4次地震被害想定(第一次報告)が6月末に示された。この主な内容と第3次までの内容と変わった点は何か。

(2) デジタル防災通信システムの配備状況及び防災メール配信の利用状況はどうか。

(3) 毎年防災の見直しは行われてきたと思うが、今後どのようなものを見直し、改善を行っていく予定はあるか。

2. 13番 福田正男 議員 (一問一答)

1. 前市長の市政運営の検証について

さきの5月の選挙で市長も市議会議員も新しい陣容になった。6月議会では、新市長の染谷氏を相手に活発な議論が行われた。特に新人議員の6名は新人離れした内容で議会の活性化に大いに寄与したと感じている。市の喫緊の課題である病院の問題や川根温泉ホテルの問題について突っ込んだ質問がなされていたように思う。そこで今回私は、前市長の12年間に及ぶ市政運営について、是々非々の立場に立って検証してみたいと思う。以下の点について伺う。

(1) 大学の誘致と病院の移転問題について

- ① 大学側から、今年の3月ではなく既に去年の11月ごろ断りの連絡があったと聞いているが事実か。
 - ② 大学から断られた後も学園祭に参加しているが、その理由は何か。
 - ③ 2月議会の前市長の施政方針の中でも、大学誘致は病院の移転とセットで考えており積極的に進めると言っており、広報しまだ4月号の病院の跡地利用に関するQアンドAでは、はっきり大学誘致を計画していますと公表している。しかし、この時点では既に大学側から断られているのは事実である。この責任は誰が取るのか。
 - ④ 先日、病院の地盤調査の結果が発表された。それによると必ずしも現地建てかえは無理ではないということであった。広報しまだでは、去年の12月から5回にわたって大々的に病院の現地建てかえは液状化により無理と訴え、市民の皆さんはそれを信じていた。市民を惑わし、不安をかき立てたのは事実であり、どのように説明するのか。
 - ⑤ 島田市民病院は災害拠点病院となっている。災害はいつ起こるか誰もわからない。ドクターヘリのヘリポート設置を検討することと、病院の周辺が液状化する危険があるのなら、早急に対策を講じるべきと考えるがどうか。
- (2) 川根温泉源泉運搬業務の必要性はどうか。また、特定の業者の優遇はどうかと思うが、このことについてはどうか。
 - (3) 公共施設マネジメントシステムの導入とインフラ対策のための庁内プロジェクトチームを立ち上げたらと思うがどうか。
 - (4) 旧金谷中学校跡地へのメッセ誘致問題は、今後県とどのように進めていくつもりか。
 - (5) 職員の再任用制度の見直しと天下りについては、今後検討していくつもりはあるか。
 - (6) 全事業の洗い出し、見直しは考えていないか。

2. 再生可能エネルギーの推進について

- (1) 太陽光発電を推進するために公共施設の屋根貸しシステムを利用する考えはないか。
- (2) 太陽光発電の補助金を増額する考えはないか。
- (3) 再生可能エネルギーの地産地消を推進していく考えはないか。

3. 3番 横田川 真人 議員 (一問一答)

1. マラソンコースリバティについて

大井川マラソンコースリバティを利用したマラソン大会も今年で5回目を迎える。そのマラソンコースも完成したわけではなく、第一期工事が終わった後北中学校前でコースが途切れた状態になっている。そこで今後の展望を伺う。

- (1) 今までの工事の総額は幾らか。また、島田市の負担額は幾らか。
- (2) 工事がとまっているのはなぜか。
- (3) 今後工事を進める予定はあるか。
- (4) コースが完成した場合、公認コースとして国際大会等はできるのか。
- (5) コースを利用した取り組みは、どのようなものがあるか。

4. 1番 青山真虎 議員 (一問一答)

1. 今後の公共事業について

借金ありきの市政運営は将来が不安になるばかりでなく、次世代に負担を強いることになる。そうした中でもやらなければならない公共事業はあると思うので、以下伺う。

- (1) 今後4年以内に実施予定の大型公共事業は何か。
- (2) 今後4年以内に合併特例債を利用して建設するために、新たに委員会等を設置して検討を開始すべき市有の建築物は何か。

2. 次世代に何を残していくか

- (1) 島田大祭及び金谷茶まつりを後世に確かな形で引き継いでいくために、現在までにどのような施策を行い、今後どのような支援をしていくか伺う。
- (2) 将来にわたり安心・安全で平和な島田に暮らすため、地域の責任として島田市は愛と平和の「宣言」を考えているか。また、宣言文の文言はどう決めていくか。
- (3) 今後さらに遺伝子組み換え作物が日常に入ってくる中で、市民の健康を最善で守るためのすべを農業や保健衛生などの分野において調査研究しているか。
- (4) 山間部や限界集落に移住を希望する若者が全国的にふえているが、山間部を含めた市内全域の空き家の概要を把握しているか伺う。
- (5) 田代の郷陸上競技場整備事業の利用目的の見直しについて、「市民の健康福祉を目的に幅広く利用できる施設」とのことだが、野外活動の施設と考えてよいか。
- (6) 市内で行われた野外音楽フェスティバルは現在までにどの程度あったか。また、新たに野外音楽フェスティバル開催に向けて若者から相談を受けているか伺う。
- (7) 若者の生涯学習支援に焦点を絞った施策は現在行われているか。
- (8) 中部電力浜岡原発について、住民アンケートの結果はどうか。その結果から、島田市の方向性はどうか。

5. 11番 桜井洋子 議員 (一問一答)

1. 平和行政について

8月15日に行われた島田市平和祈念式典において、染谷市長は式辞で「二度と戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、今後も継続した恒久平和への取り組みを行っていくこととお誓いいたします。」と述べ、「真の平和都市の実現に向け、わかりやすい言葉でその志をあらわし、市民が一丸となって取り組んでいくことが必要であると信じております。1年後、この場所で皆様にその志が御披露できるよう、たくさんの方々の御意見を伺いながら、普遍的な言葉の一つ一つを紡ぎ出していければと考えております。」と決意を述べた。このことについて以下伺う。

- (1) この夏実施された平和のつどい（島田空襲被爆者慰霊のつどい、戦争と平和に関する展示会、島田市平和祈念式典）への市民の取り組みや参加状況はどうだったのか。
- (2) 現在、県内35の自治体の中で3市5町がいまだ「非核自治体宣言」をしていない。島田市もその中の一つだ。「島田市非核平和都市宣言」をして平和への決意と行動を内外に示すべきと考えるが、市長の見解はどうか。
- (3) 次世代を担う子どもたちに引き継ぐ平和教育について
 - ① 各小・中学校で行われている平和教育の取り組み状況はどうか。
 - ② 平和教材はどのように用意されているか。
- (4) 「島田空襲は、実は原爆模擬爆弾の投下訓練だった」という事実がある。島田空襲をはじめ、牛尾山の旧海軍の「強力電波兵器」実験所跡など、戦争の資料や遺物などを保存、保管する資料館を整備し、戦争の悲惨さや平和の尊さを後世に伝えていくべきではないか。

2. 学校図書館の充実について

児童・生徒の読書活動、学習活動の充実・発展を図るため、学校図書館の果たす役割はますます重要になってきている。充実を求め以下伺う。

- (1) 学校図書館として機能する図書室や本の整備状況はどうか。
- (2) 人の配置について
 - ① 学校図書館経営における司書教諭の役割はどうか。
 - ② 今年度は学校図書館支援員が3名配置されている。司書の全小・中学校への計画的な配置が必要だがどうか。
- (3) 川根小学校と川根図書館が併設されるが、併設のメリットを生かした図書館運営はどうか。

1. 防災対策について

南海トラフ巨大地震の第4次地震被害想定(第一次報告)が県より出されている。これは、沿岸地域への地震・津波被害の想定が主であるが、災害というのは地震に限らず風水害、火災など身近にいつ起きてもおかしくない状態である。昨今の異常気象による集中豪雨がいい例である。そこで、過去に何回か質問をしているが、その進捗状況と今後の対応について以下伺う。

(1) 各自主防災組織の現状について

- ① 防災委員等リーダー養成の現状はどうか。
- ② 避難所の見直しをしているか。
- ③ 各自主防災組織の防災用資機材及び倉庫の整備状況はどうか。

(2) 消防団の現状について

- ① 消防団の団員数は満たされているか。
- ② 市として、団員確保にどのようなことをしているか。
- ③ 消防団の組織体制は、今後も維持されるか。
- ④ 消防団非常招集訓練時の車両サイレンの使用はできないか。

(3) 公共施設や市内木造住宅の耐震診断及び耐震補強状況について

- ① 公共施設の耐震化率はどうか。また、今後の対応はどうか。
- ② 耐震診断実施状況とその後の耐震補強状況はどうか。

(4) 有事におけるライフライン(電気、ガス、水道等)について

- ① 病院等公共施設の補助電源などのライフラインは確保されているか。
- ② 水道関係施設の補助電源は確保されているか。

(5) 食糧及び生活必需品の確保について

- ① 食糧及び生活必需品の市内における緊急物資流通在庫調査の状況はどうか。
- ② 食糧及び生活必需品の各事業所との協力体制はどうなっているか。

(6) 災害時要援護者支援計画の現状について

- ① 高齢者、障害のある人、乳幼児、妊産婦、傷病者及び外国人等の要援護者の登録状況はどうか。
- ② 対象者に対する周知方法はどのようにしているか。

(7) 災害時の市民に対する情報伝達方法について

- ① 防災情報メールの登録状況はどうか。
- ② 同報無線のデジタル化はどうなっているか。
- ③ 同報無線難聴地域への対応はどうか。

7. 19番 八木伸雄 議員 (一問一答)

1. 中心市街地の活性化について

市民病院の中心市街地への移転が見直されたことにより、少なからず影響のあった市民がいたことが推察される。

特に本通りの商店街の皆さんは、将来の事業展開に大きな期待をしていた店主がいたのではないかと。また、店舗の改築等の計画や後継者問題にも影響を与えたのではないかと。商店街の現状についての認識と、今後、市民病院の移転にかかわるどのような活性化対策を考えているか。以下伺う。

- (1) 空き店舗対策の成果について
- (2) 本通りの商店の件数と売上げの推移を示してほしい。
- (3) 大型店舗進出の影響についての見解はどうか。
- (4) 本通り商店街の今後のあるべき姿をどのように考えているか。
- (5) 市民病院の移転にかかわる活性化対策を考えているか。

2. 公共交通の見直しについて

昨年6月に公共交通に関する特別委員会からさまざまな提言を行った。提言がどのように生かされたのか検証するため、以下の点についてどのような検討を行ったのか伺う。

- (1) コミュニティバスの運行について
 - ① コミュニティバス料金の見直し
 - ② 伊久身線、相賀線の効率化
 - ③ 川根・川口線のNPOなどによる自主運行
 - ④ 湯日線、大津線のばらの丘への延伸の評価と今後の見直し
 - ⑤ 六合北線、六合南線の廃止
 - ⑥ 島田東線の運行回数・経路の見直し
 - ⑦ 夢づくり会館線の運行回数・経路
 - ⑧ 大代線の存続
 - ⑨ 田代の郷温泉線の経路・時刻
- (2) 民間の公共交通に関連した見直しについて
 - ① 湯日地区のデマンド型の乗り合いタクシーの評価と今後の対応
 - ② 公共交通空白区のデマンド型の導入
 - ③ はなみずき通りから市民病院へのコミュニティバス乗り入れの実施
 - ④ 大津線の市民病院裏口の駐車場の玄関口への移動
 - ⑤ 大井川鐵道を利用する神尾・福用地域の市民への補助
 - ⑥ 民間バスへの支援

8. 6番 森 伸一 議員 (一問一答)

1. 最近島田市が行ったいくつかの施策のその後について

- (1) おび・りあ建設の基本方針、理念は「みんなで育てる情報・交流のホットステーション」であった。そこで以下伺う。
 - ① 人と本、情報をつなぎ、知的・創造活動を支える。多世代の交流と市民の相互に支え合うとの考え方は、具体的にはどんな方法で生かし、実現しようとしているか。
 - ② まちなかの回遊性、にぎわいの創出についてどんな工夫をし、現状はどうなっているか。
- (2) 病院移転問題白紙後のジャスコ跡地周辺の将来ビジョンについて
 - ① ジャスコ跡地を購入したヨシコンは早速マンション建設に取りかかったが、市との間で市民病院移転となれば優先的に土地を市に売るとする文書、約束はあったのか。
 - ② ぴーファイブ、ビッグ駐車場跡、楽習センター駐車場などの再編計画について、関係者と意見交換する考えはあるか。
 - ③ ジャスコ跡地北側に建っていた刀鍛冶関連の石碑がなくなったが、今後どうするつもりか。
- (3) 新金谷駅 S L 転車台設置に当たり、市は観光整備事業として県支出金も含め約9,000万円を使ったが、以下伺う。
 - ① 1年以上たち、川根方面も含めその効果はどうか。
 - ② 転車台の今後のメンテナンスは、大井川鐵道が単独で行うのか。
 - ③ S L フェスタ以外での転車台を活用した金谷周辺の観光事業は、どのようなことを企画しているか。
- (4) 東日本大震災復興費は被災地以外でも使われているが、以下伺う。
 - ① 震災瓦れきを受け入れた結果、災害廃棄物受入事業委託金として約1,581万円を県から受け取っているが、これは国の復興費が使われたものか。
 - ② 復興費を使った島田市での事業はなかったか。
 - ③ 復興費確保ということで公務員の給料削減が各地で行われているが、島田市はどうするつもりか。

9. 2番 杉野直樹 議員 (一問一答)

1. 豪雨に対する市の備えを問う。

(1) 豪雨災害から市民の財産を守るためにはどのような備えが必要なのか。また、既に島田市が行っている豪雨災害に対する備えを問う。

2. 島田市の商業の発展について市の方向性を問う。

(1) 島田市には幾つかの商店街が存在するが、これから市として商店街をどのような位置づけで活性化にかかわっていくのか問う。

(2) 市当局には商店街活性化を図るための組織があるのか問う。

(3) 商店街の活性化について具体的な市の政策を問う。

10. 9番 村田 千鶴子 議員 (一問一答)

1. 障がいを持った子どもたちの教育について

学校教育法が改正され2007年4月から、これまでの特殊教育から特別支援教育に変わった。共生社会（ノーマライゼーション）が進む中で、従来の心身障害者の対象だけではなく学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）、高機能自閉症等を含めて発達障害のある児童生徒の一人一人の教育ニーズを把握し、その障害や特性に適した生活や学習上の必要な支援が求められている。

また、障がいのある子どもの発信するサインをしっかりと受けとめ、向き合うためにはコミュニケーションの取り方等、支援員の資質向上も極めて重要であるとの観点から、以下について所見を伺う。

(1) 島田市の特別支援学級の実態、あり方について

- ① 市内の小・中学校の特別支援学級の開設状況はどうか。
- ② 現状と課題は何か。
- ③ 市は平成22年から拠点校化し、2人以上の開設が原則であるが、地域の子どもは地域で育てる観点から、1人開設についての考えはどうか。

(2) 特別支援教育を支える体制について

- ① 市内の小・中学校の特別支援員の配置状況はどうか。
- ② 現状と課題は何か。
- ③ 通常学級に在籍する発達障害のある児童生徒に対する適切な教育支援が求められる中、当市での支援員の養成はどのように行われているか。

2. 島田市民会館耐震診断調査報告について

(1) 8月30日に所管課より「市民会館は全ての階で目標値を下回り、ランクⅢ・耐震性能が劣る建物に分類されるとの業者の判定である」とする中間報告があった。この報告結果を県の第三者委員会に提出し、評定を受けて内容が確定することである。築43年もの間、長く島田の文化の拠点としてたくさんの芸術文化に触れ、また、市民文化の向上に寄与してきた施設の今後について、市長の見解を伺う。

(2) 現在、隣接している市役所も定期的建物調査をしている。市役所は昭和37年に建てられ51年が経過している。この間、耐震補強はしているとはいえ、安心・安全を確保すべき中枢拠点である。将来的には、一等地に立地する公共施設について総合計画にどのように位置づけて方向性を考えているのか。

11. 18番 藤本善男 議員 (一問一答)

1. 防災拠点としての学校施設の活用について

静岡県では大地震などの大規模災害発生時に帰宅困難となる児童生徒の対策として、食糧や飲料水の備蓄を進める方針とのことである。また、学校施設は地域の避難所としても重要な位置づけとなっており、積極的な活用と施設の充実を進めることが、災害時に有効と思われることから、以下の点について伺う。

(1) 島田市内の学校における施設の現状について

- ① 島田市内で避難所とされている学校は何校か。
- ② 発電機能や冷暖房機能などはどのような状況か。

(2) 学校施設の有効活用について

- ① 各学校の空き教室はどのような状況か。
- ② 空き教室を防災資機材の備蓄場所など、防災面で活用することはできないか。

(3) 学校施設への食糧等の備蓄について

- ① 学校への食糧、飲料水の備蓄状況はどうなっているか。
- ② 学校への備蓄を増強する考えはあるか。

2. 魅力ある都市機能について

島田市の魅力を向上させるため、都市機能の充実が求められるが、以下の点について現状を伺う。

(1) 都市計画公園、都市計画緑地について

- ① 都市計画公園、都市計画緑地の整備はどのような状況か。
- ② 公園の計画区域内が開発される一方、いまだ供用をされていない公園がある。市民意見を踏まえ計画を見直す考えはないか。

(2) 公共下水道事業について

- ① 公共下水道の整備はどのような状況か。
- ② 下水道事業には多額の費用が必要だが、計画区域や経営形態を見直す考えはないか。

12. 8番 清水唯史 議員 (一問一答)

1. 指定管理者制度について

地方自治法の改正により、公の施設に係る管理代行として指定管理者制度が創設されて以来、本市においても、民間活力の導入の観点から、順次指定管理者制度が導入されてきている。こうした指定管理者制度について市長の所見を伺う。

- (1) 本市における指定管理者制度の導入の状況はどうか。
- (2) 指定管理者制度の目的と効果をどのように考えているか。
- (3) 今後指定管理者制度の導入を予定する施設はあるか。
- (4) 川根温泉宿泊施設への指定管理者制度導入の検討経過、理由、時期及び指定管理者の条件をどのように考えているか。

13. 20番 平松吉祝 議員 (一問一答)

1. 公平・公正、市民本位のまちづくりについて

本年5月、染谷市長は公平・公正、市民本位のまちづくりを公約に掲げ島田市長に当選した。以来3カ月余りが経過したが、当初予算に計上されていた事業の幾つかが縮小、または廃止となっている。市長は所信表明の中で「これまでと異なる視点による思い切った方針の転換が必要となってまいります。これまでの体制の中で決定された施策や事業について、その全てを否定する考えはありません。しかし、今一度、市民の皆さまとともに考え直すべきものについては、優先順位をつけて見直していきたい。」としているが、この見直しについて以下伺う。

- (1) 市長に就任して以来、当初予算に計上されていた事業のうち、縮小や中止など見直しを行ったものは何か。また、今後予定するものはあるか。
- (2) 見直しを行った理由と根拠は何か。
- (3) 見直しはいつどのように決定し行ったか。また、市民の意見聴取やそれらにかかわっている市民への説明は行ったか。
- (4) 総合計画など関係する計画は変更するのか。
- (5) 市長が職員へ訓示した「コンプライアンス」と「融和」にのっとった見直しであるか。

14. 4番 伊藤 孝 議員 (一問一答)

1. 島田市のホームページ等の利用について

- (1) ホームページ利用についてどのように考えているか伺う。
 - ① 位置づけをどのように考えているのか。
 - ② 誰を対象にしているのか。
- (2) アクセスについて伺う。
 - ① どれくらいのアクセスがあるのか。
 - ② 他市と比べてどうか。
- (3) 今後の活用方法について伺う。
- (4) チェック体制はあるのか伺う。
- (5) フェースブックの利用についてどのように考えているか伺う。

2. 教育力向上について

- (1) 全国学力テストについて伺う。
 - ① 結果について、市長、教育長の考えはどうか。
 - ② 「公表すべきでない」とした理由について、市長、教育長の考えはどうか。
- (2) 教員の駐車場料金について伺う。
 - ① 取りやめた理由について、市長、教育長とも同意見か。
 - ② 4月からでなく、8月から取りやめる理由は何か。
 - ③ こども未来・夢基金に影響はあるのか。
 - ④ 今まで徴収した料金を返還しないのか。
- (3) 子供の安全確保について伺う。
 - ① 子供関連施設の地震発生時等の安全対策は万全か。
 - ② 児童館等における休日・長期休暇時の来館者が多いときの安全対策は問題ないか。

3. はばたき橋の供用開始について

- (1) 交通状況について伺う。
 - ① 約1カ月経過したが、当初予想との違いはあるか。
 - ② 交通量増加に対して、市道の新設・改修等の予定はあるか。
 - ③ 交通弱者に対する対策は万全か。
 - ④ 住民からの要望等はあるのか。
- (2) はばたき橋周辺の土地利用について伺う。

15. 7番 仲田裕子 議員 (一問一答)

1. 新東名島田金谷インターチェンジ周辺等開発プロジェクト推進チームについて

前回の6月定例会一般質問において質問した新東名島田金谷インターチェンジ周辺等開発プロジェクト推進チームについて、市長は、「複数の部署から専門知識を結集し、準備作業を進めており、当面は見直しの必要はないと考える。」との答弁があった。平成25年4月に発足したプロジェクト推進チームの件について伺う。

- (1) 平成25年4月に立ち上げた「新東名島田金谷インターチェンジ周辺等開発プロジェクト推進チーム」の目的について
- (2) 4月から約4カ月経過した現在の状況について
- (3) この推進事業の成果及び問題点を現段階でどのように分析しているのか。
- (4) 今後島田市として、新東名島田金谷インターチェンジ周辺等開発プロジェクト推進チームに期待すること及び可能性について

2. 農業の活性化について

市長は、農業の活性化に対して「基本的には農業経営基盤の強化の促進に関する基本的構想と島田市担い手育成アクションプログラムに沿って施策を推進する。特に、茶園地の基盤整備、耕作放棄地対策、複合経営の新たな経営体系の確立、認定農業者への支援、新規就農者の経営支援などについては、JAや農業従事者と地域農業の活性化について定期的に話し合いの場を設け活路を見い出し、農業後継者の育つ農業施策、魅力ある農業、時代に合った農業に努めていく。」と述べたが、それぞれ具体的な事業計画を伺う。

3. 島田市の花・木・鳥の制定について

この質問は以前にもしたことがある。島田市の市章は、平成17年7月14日告示第173号により制定された。説明では「島田市のSの字をかたどり、東海道の中心から全国に広がる躍動感あふれるデザインです。青は大井川を、緑はお茶を表し、豊かな自然をイメージしています。」と記されているが、花・木・鳥は未制定である。

「合併後、市の花・木・鳥などの制定は、合併10周年などの節目の時期に合わせて制定したい。」との、前市長の答弁であった。

染谷新市長は、今後、市の花・木・鳥などの制定をどのように考えているか伺う。